

【No. 1】 商業施設におけるユニバーサルデザインに関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 通路の寸法は、車椅子同士がすれ違える寸法として 1.8m 以上（最低 1.5m 以上）確保する必要がある
2. 入口の有効幅員は 65 cm 以上で、かつ自動式の引き戸が望ましい
3. 視覚障害者の誘導・警告用床材は、周辺の床材の色との明度対比に考慮する
4. 白内障の高齢者の視界は黄変化するので、白地の案内板の標示の強調部分には、赤色などを使う

答. 2

【No. 2】 商業施設に関係する法規に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 大規模小売店舗立地法は、大型商業施設の事業者と地域の事業者や生活者との双方が共存していくための法律である
2. 飲食店を開業する場合には、法で定める設備機器を設置して、専任の食品衛生責任者を定め、所轄の保健所へ営業許可申請を行う必要がある
3. 意匠法が改正されたことにより、建築物の内外装のデザインや施工技法に対して意匠登録を行うことが可能となった
4. 特殊建築物に指定される建築物とは、不特定多数の人が利用し、安全性に配慮すべき建築物のことで、劇場・病院・ホテルなどを指し、百貨店・物販店・飲食店などはこれに含まれない

答. 4

【No. 3】 建築構造に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. S 造は、建物重量が R C 造より軽く、超高層ビル、工場、倉庫等に用いられる
2. S R C 造は、鉄筋コンクリート造より靱性があるため、中高層建築物に用

いられる

3. RCの壁式構造は、補強コンクリートブロック造より一体性が弱い
4. CFT造は、鉄筋工事や型枠工事が不要だが、高い技術が必要である

答. 3

【No. 4】 電気設備に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 一般的な住宅における屋内の電気方式は、三相3線200Vが用いられている
2. 大規模建築では、特別高圧受電となり、受変電設備が必要である
3. フロアダクト工事は、床に鋼製の扁平な角パイプを格子状に埋め込み、ジャンクションボックスから配線を取り出す
4. 硬質ビニール管工事は、耐蝕性があり、化学工場や湿気の多い場所の工事に適する

答. 1

【No. 5】 給排水・衛生設備、ガス設備に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 通気管の目的は、トラップの封水がサイフォン作用により失われるのを防止することである
2. 高置タンク方式は、自然落下による給水方式であるが、水圧は安定しない
3. 長時間使用しない衛生器具は、蒸発により封水が失われる場合がある
4. ガス機器には、可燃物との離隔表示のない特注機器もあるため、特注機器を計画する場合は、所轄消防署との事前協議が必要になる

答. 2

【No. 6】防災設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 消火設備には、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、泡消火設備などがある
2. 中央管理室は、延べ面積 500 m²以上の地下街に必要である
3. 自動火災報知設備は、感知器で熱や煙を感知し、受信機に火災の発生と場所を知らせる
4. ガス漏れ検知器は、都市ガスは天井へ、L Pガスは床面より 30cm 以内で給気口を避けて設置する

答. 2

【No. 7】色彩計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 外構デザインは季節によって自然環境が変わるので、調和を考慮しなくてもよい
2. 色彩は施設の印象づけに効果的である
3. 色彩ガイドラインは、環境整備や美化を目的に自治体がまとめて、示したものである
4. 飲食店は一定時間滞在するため、居心地のよい色彩計画が必要である

答. 1

【No. 8】商業施設の音響計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 残響時間とは、音源の振動が止まった瞬間から、その音圧が 60dB (デシベル) に減衰するまでの所要時間のことである
2. 音の3要素とは、音色・音の高さ・音の大きさ のことである
3. 施設内で緊急放送などを行う場合、高齢者によっては周波数の高い音が聞き取りにくいケースがあることに留意する必要がある
4. 吸音性能が高い空間や壁体では、一般的に遮音性能も高いとされる

【No.9】 商業施設のサイン計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. サインは機能的且つ感性的に情報を伝えることが求められる
2. 建物の壁面に設置するサインは屋外広告物法では「広告版」と呼ぶ
3. 屋外広告物の設置は、当該行政区域の登録業者でなくても工事ができる
4. 利用者が行動するための施設情報を分かりやすく提供するのが「サインシステム」である

【No.10】 商業環境のアメニティに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業施設内の心地よさ、快適さを高める事で、来店客数が増加し、滞在時間も長くなる事が期待できる
2. バリアフリー法には、高齢者や障害者に対する設計上の基準が定められている
3. 屋内にスロープを設ける場合は1/12以下の勾配とし、手すりを設ける
4. 身障者用トイレの内法は 1.7×1.7m以上とし、便座の周囲に手すりを設ける

【No.11】 市民共生環境・情報計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 人々の共生環境実現のひとつとして、アクセシビリティの概念がある
2. 市民共生環境に関する法制度には、バリアフリー法は含まれない

3. 商業施設の計画は、人々が経済活動を通して共生する姿を描くことである
4. 電子商取引の消費者側入力情報はマーケティングの有効な情報である

答. 2

【No.12】 商業施設の防災計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. 高さ 31m以上の建築物や、高さが 31m未満の建築物でも建築基準法の施行令 147 条に該当する建築物は、防災計画書を提出する必要がある
2. 大型商業施設では、消防法の定めにより大規模地震対処計画を作成する義務がある
3. 火災の初期段階で延焼拡大を防ぐには、内外装の素材を難燃化し、消火栓設備やスプリンクラー設備の設置が有効とされる
4. フラッシュオーバーとは、出火した炎が空間を加熱することで発生する可燃性ガスが、爆発的に燃焼する状態のことである

答. 3

【No.13】 商業施設の安全計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. 大型商業施設やホテルなどで避難する時の歩行速度は、水平部分での歩行速度として、毎秒 3.0mが目安とされる
2. 商業施設の安全計画を作成する場合は、構造上の耐力、防火耐火の性能、避難時の動線、換気や衛生上の視点などを総合して立案する必要がある
3. 大型商業施設の避難動線を設定する場合は、2 方向避難路の確保や通常の歩行経路と避難動線を一致させるように計画する
4. 避難安全検証法に定める規定を満たしていれば、建築基準法の避難関係規定の一部を適応除外にすることができる

答. 1

【No.14】 商業施設のコスト計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 商業施設では、一般的に初期投資の削減、ランニングコストの低減以上に、顧客要求の意匠が優先される
2. コストに影響のある項目として、各種契約内容、スケジュール、建築・構造、各種設備等があるが、これらを事前に確認することが重要である
3. 構造計画では、資材価格の市場動向を注視し、一般的に多く採用されるS造だけではなく、他の構造方法も検討する
4. 商業施設の設備計画では、天井内設備の納まり検討を早期より行い、後戻り作業の追加コストが発生しないようにする

答. 1

【No.15】 設計図書に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 基本計画図書は、プロジェクトの特性を表現するものである
2. 配置図、平面図などは、原則として北を上には作図する
3. 透視図は、建築やインテリアの空間イメージを平面図で表現することである
4. CADを活用すると、類似図面の作成が容易となる

答. 3
